

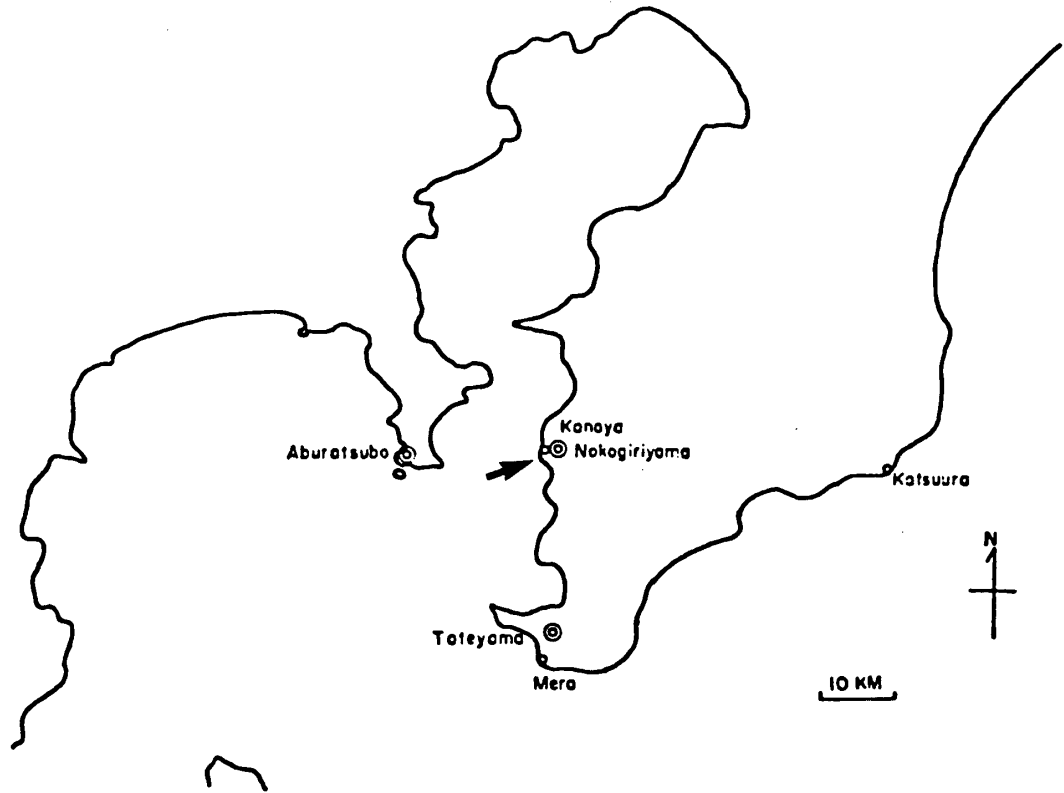
### 3-17 鋸山地殻変動観測所で観測された異常地殻変動

#### Abnormal Crustal Movements Observed at the Nokogiriyama Crustal Movement Observatory

東京大学地震研究所 鋸山地殻変動観測所

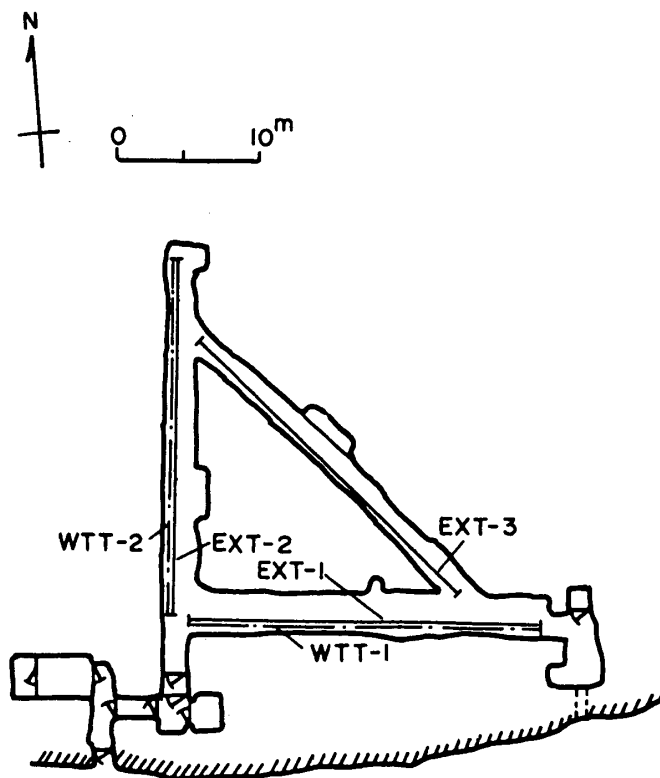
Nokogiriyama Crustal Movement Observatory,  
Earthquake Research Institute, The University of Tokyo

鋸山地殻変動観測所の位置と観測坑の平面図が第1図と第2図に示されている。第2図には伸縮計と水管傾斜計の配置も示してある。水位の測定は観測坑から西方約200m離れた64mの深井戸において実施されている。異常変動は1990年7月31日に発生し8月10日頃まで継続した。第3図に観測データを示す。傾斜の黒丸でプロットしてある方は読み取り水管による結果であり、実線の傾斜は自動水管傾斜計による。歪・傾斜とも $10^{-6}$ のオーダーの変化が発生している。水位は1m程度低下した後回復し最初の状態から20cm低下した状態で落ち着いている。詳しくみると歪・傾斜の変化は水位変化よりも2時間くらい早く始まっている。鋸山地殻変動観測所では1959年から観測を継続しているが、このような異常変動が観測されたことはまだない。現地における聞込み調査を行ったが地下水の汲み上げ及びボーリング等の工事は見つかっていない。



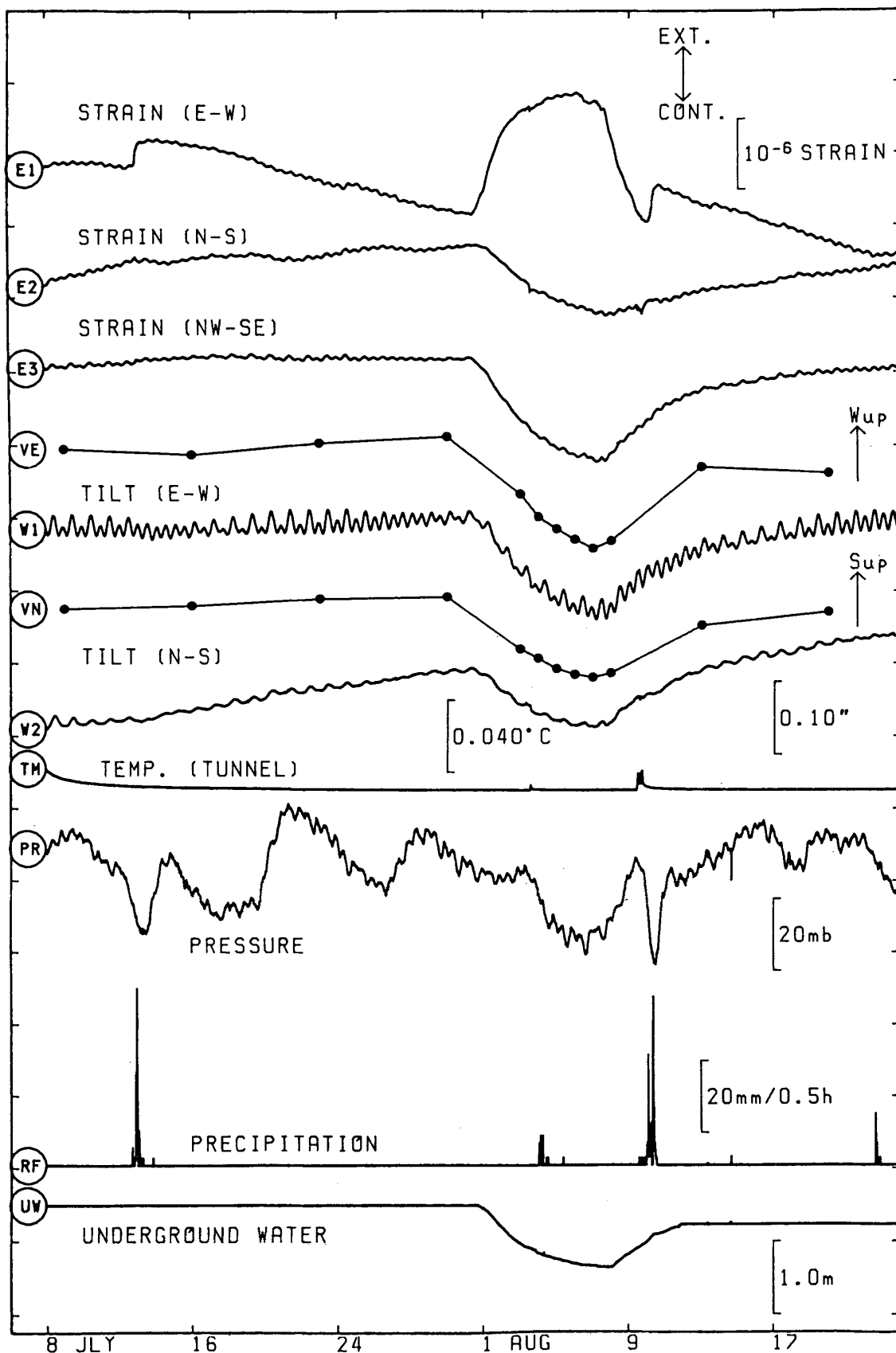
第1図 鋸山地殻変動観測所の位置

Fig. 1 Location of Nokogiriyama crustal movement observatory.



第2図 鋸山地殻変動観測所観測坑の平面図

Fig. 2 Plane figure of observation tunnel of Nokogiriyama crustal movement observatory.



第3図 観測結果

Fig. 3 Observation results.